



「ごきげん」に

舌鼓み

【清風園・14日】

お年寄り八十人が生活する特別養護老人ホーム「土佐清風園」は、県調理師連合会青年部のみなさんの慰問を受け、一足早い「敬老の

お寿司屋さんに早替り。「うまい」とお年寄りたち

日」を迎えました。まず平安の昔、朝廷で長寿の祝に奉納されたという「式包丁」の儀式が披露され、二人のお年寄りも介添人に参加して長寿を祈念しました。



「式包丁」を真剣に見入るお年寄りたち

健康第一！

趣味や生きがいも

「敬老の日」（九月十五日）にちなんで、市内でも各地区でお年寄りを励ます行事が行われました。また、お年寄り自身も運動会やゲートボールで汗を流すなど、自分たちの健康について考えた一日でもありました。

老人の中には「孫の成長だけが楽しみ」だという人もいますが、趣味や生きがいを持ち、まだまだ社会の一員として活躍してほしいと思います。

なんといっても、健康第一！



コーラス、謡曲に うつろ

【大篠・15日】：市内中心部の大篠地区の敬老会では、地区公民館にお年寄り百七十五人が招待されて開かれました。地区社会福祉協議会などが主催して行われたもの。まず吉永産業経済課長ら来賓か

ら「まずまず元気で、若い者の指導をお願いします」と激励の言葉を受けたあと、昼食会、アトラクションに移りました。アトラクションは、大篠小PT Aママさんコーラスによる「荒城の月」でオープニング。昔懐かしい曲をいっしょに歌うお年寄りたちもいて、楽しい雰囲気につつまれました。

またお年寄りたちは、次々に出される謡曲やカラオケなどのアトラクションに耳を傾けながら、用意された仕出し弁当を食べたり、酒を酌み交わしながらも、お互いの健康を気遣い合っていました。

コーラスを聞きながら
食事をするお年寄りたち

長生きしてね！

各地区で敬老会などの催し

住民総出の 敬老会



子供たちの踊りにうっとり

【奈路・15日】：南国市の北部、奈路、黒龍地区では、住民総出の敬老会が行われ、奈路公民館には約五十人のお年寄りが集まりました。

そして、嫁たちの手作りの料理を賞味しながら、青年団や奈路小の児童、婦人部の方の劇や踊りを見て、楽しい一時を過ごしました。この地区は、住民のつながりが深く、みんなが良く知った者どうし。しかし、それぞれの家が離れているため、年を取ると会うことも少なく、久しぶりの顔を見つけては、昔話に話がはずんでいました。

手作りふきん プレゼント



【園豊・15日】：この地区では七十歳以上の方は約四百人、そのうち百九十人が地区公民館に集まりました。園豊保育所の園児が、長生きしてくださいと「百歳のうた」を合唱し、手作りのふきん、針山、折り鶴などをプレゼント。それから、園豊小、北陵中の生徒が、「私のおじいちゃん、おばあちゃん」と題して作文を発表しました。聞いているお年寄りの中には、子供たちのやさしい心に思わず涙ぐんでいる人の姿も見えました。

午後からは、青年団や農協婦人部の方々の劇や踊りを見ながら、お酒も入り話はずんでいました。

子供たちの作文を聞き入る
お年寄りたち

かわいい孫の姿にうっとり

お年寄りを大切にする心を、小さい時から育てよう——と、後免野田保育所で九月十七日、敬老参観日が開かれました。

今までも、九月十五日の「敬老の日」にちなみ、おじいちゃんやおばあちゃんへ手作りのハガキを送ってきました。しかしそれよりも、実際に孫ののびのびした姿を見てもらったほうがと、昨年からの参観日が始まりました。

当日集まった、おじいちゃん、おばあちゃんは六十人ほど。まず、

孫といっしょに各教室に入り、保育士さんが「〇〇君のおばあちゃんです」と紹介すると、子供たちは少しはにかみ気味。それから、一つの教室にみんなが集まり、練習を積んだ歌や踊りを披露し、おじいちゃんやおばあちゃんはいっしょに孫の姿を、ほほえましく見ていました。



最後に、孫たちの手作りのプレゼントをもらい、「来年もまた呼んでください」と、皆さんとてもうれしそうでした。

800人が参加、 いい汗流す

老人体育大会

恒例になった老人体育大会が九月十七日、市内各地区から八百人のお年寄りが集まって市民体育館で行われました。

この大会は、老人がスポーツを通じ、健康保持と生きがいを高めるためにと始められたもので、今回で第十一回目を迎えました。競技種目は全部で八種目、各地区が八チームに分かれて熱戦が繰り広げられました。

トレーニングウェアに鉢巻き姿が決まっているおじいちゃんもいれば、お腰を曲げながら元気いっぱい走るおばあちゃんもいました。また、接戦になると応援の声も一段と高くなり、勝って大拍手、負けて大きなため息と、一日中夢中になって各競技に取り組み、いい汗を流しました。

なお、熱戦の結果は次のとおり。

一位「福生・十市チーム」
二位「園豊チーム」
三位「三和チーム」